



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆10月の目標

☆安全の「あ」
健康な自分・・・
※体力づくりをしよう
※手洗い、うがいをしよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り 31号
☆保護者の会から
今日はバザーです！

☆今後の主な予定

・10月29日、11月5日
個人懇談会
・10月29日
授業参観、弁論大会
漢字検定、バザー

☆運動会

竹の内 二年三組 ゆう花

私は、トルネードせんぷう、大玉ころがし、かけっこ、玉入れに出ました。わたしは白くみでした。一ばんたのしかったのは玉入れです。玉があと二こ入れれば、白ぐみがかっていました。とてもくやしかったです。きよ年先生が、ほなれたほうが入るよ」と言ってくれました。だからやってみました。いっぱい入りました。先生が教えてくれてうれしかったです。まけてしまったけれど、一年生よりたくさん入ってうれしかったです。一年生の白ぐみがかってくれました。うれしかったです。

☆運動会

ティビスれい子 二年三組

わたしは、うんどう会で、おどろいたり、たのしかったことがたくさんありました。大玉ころがしするとき、ボールがかってにちがう方へいってしまっすすむのがとてもむずかしかったです。玉入れは、はじめはむずかしかったけど、かごにありようになげると入りました。わたしは、中学ぶでむずかしい玉入れをやるのがたのしみです。



☆運動会 二年三組

はま田 り音

わたしががんばったことは、六十メートル走です。来年のうんどう会は、もう少しはやくなっているといいです。なぜかという、来年も自分のいるチームでゆうしようしたいからです。



☆運動会

ふじ本 さくら 二年三組

わたしがうんどう会で一ばんたのしかったのは、六十メートル走です。それは、毎年少しずつじゅんじゅん上がって、今年は一ばんになれたからです。前の日もれんしゅうをしたのでうれしかったです。もう一つたのしかったのは、大玉ころがしです。ペアのひとつかた方が早く行きます。ペアのひととかがた方が早く行きます。二人で合わせるのがたのしかったです。うんどう会にしました。



☆運動会

すずきしょうた 二年三組

ぼくは、アメリカにきてはじめての日本語学校でうんどう会をしてとつてもたのしかったです。日本では、五十メートルを走って一ばんで、日本語学校では、六十メートルを走って三ばんでした。日本よりおそくなっすすむのでとてもくやしかったです。来年は、一ばんになりたいです。六十メートル走でまけてしまっすすむので、白ぐみ



☆絵日記 二年一組

十月十日 日野 瑞貴

日曜日に、ぼくがハロウィンでなりたいたフットボールせんしゅのヘルメットをお父さんがつくりました。ぼくは、お父さんがヘルメットをつくるよ」と言った時に、楽しみにしていました。まず紙にヘルメットの形をいんさつしました。お父さんが紙を切って、つぎにおり目をつけて、のりしろにのりをつけてました。ぼくは、パソコンでヘルメットのしゃしんをさがしたら、おとうさんがつくったのとそっくりでした。ぼくは、おとうさんがつくってくれたヘルメットがすごくかっこいいと思います。今年のハロウィンが楽しみです。ぼくは来年も同じコスチュームをきたいです。



☆絵日記 二年一組

十月十四日 吉武 陽穂

十月十三日に、さきちゃんといっしょにりんごがりへ行きました。ハニークリスプをとりたかったのですが、なかったから。ジョンサンのところへいきましました。りんごをとって半分に分けてからあそびました。夕方まであそんですごし、時間がのこったので、パンプキンパッチでかぼちゃを買いました。とてもいい一日でした。



☆絵日記 二年一組

十月八日 すずききつぺい

ぼくは、秋休みにりょうこうに行きま

はじめは、朝早くおきて空こうにい



☆ぼくのねこクリーム

五年二組

佐藤 隼人

ぼくの家のねこクリームは太いです。ぼくより一つ上で十一才です。ねこの年ならおじいちゃんぐらいいだけど、おやつをいつもほしがります。まずお母さんのところに来て、にやーにやーとおねだりします。それとお母さんがせんたく物をたたんでいるとせんたく物の上ですわってしまいます。それでお母さんにどかされます。あたたかい風が出てくるところでよくねています。まどから外を見るのも好きです。知らない人がくるとかくれてしまいます。春休みにお姉ちゃんが日本から来た時に知らない人と思つて、一日かくれていました。お姉ちゃんは悲しかったと言っていました。ぼくも、わすれられるとさみしいです。



☆伝記「パストゥール」を読んで

五年二組

佐野 泰隆

ほじめて伝せん病の原因をつきとめたフランスの科学者」と表紙に書いてあったので、どんな人なのだろうと思つて、この本を読んでみることにしました。

パストゥールは、大学に行くまで絵をかくことが上手で絵に力を入れていました。科学と物理の先生になるために大学に行き、初めて塩の結晶の標本を見てから好奇心をかきたてられ、結晶の研究に取り組むようになりました。パストゥールは、病気は細菌によつて引き起こされることをつきとめました。このときは、パストゥールの考え方に反対する人がいましたが、必ずしようこを見つけて、自分の考えが正しいことをしよ明しました。この負けずぎらいなところがあきらめずに努力し続けるところがすごいところだと思ひます。もし、パストゥールがでんせん病の原因を明らかにしていなかつたら、もしかしたら、今でもでんせん病でたくさんの人がなくなつていられるかもしれな

いというこを考えると、ぞくつとします。また、パストゥールは、くさるワインとくさらないワインを調べてワインの作り方を研究しました。このとき、パストゥールが開発した殺きん方法は、パスチュアライゼーションとよばれ、今でも牛乳の殺きんにもつかわれています。ぼくは、パストゥールは、それだけいい方法を編み出したので、地球はこの人が必要だと思ひます。実は、パストゥールは、四十六才の時、のう出血で倒れ、体の左側がまひしてしまいました。それでも、七十三才で亡くなるまで研究をつづけたことと人の役に立つために、自分に何があつても仕事を止めない姿勢は、ぼくには、まねがでなない、立派なものだと思ひました。このころ、世界中でいろいろなでんせん病がはやっていました。ローベルト、ゴッホが炭そ病の原因を明らかにしたので、パストゥールが、その治りよう法の開発に乗り出しました。

病気にかかつて、死ななかつた牛に、強力な炭そ菌を注射しても死ななかつたことに注目して、予防接種によつて病気を防ぐことに力をそそいでいました。そして、四年をかけて、炭そ病ワクチンを開発できました。

ぼくは、病院に行つて注射をうたれるのはきらいだけど、予防接種をして病気を防いでいる思つたら、しないよりは、ずつと良いことで、パストゥールがこの方法を考えたのは、本当に世の中の役に立つていと思ひます。パストゥールが六三才のとき、きよう大病の犬にかまれた少年を注射で救つたことに感動しました。

この本を読むまでは、予防接種を考え出した人や牛にゆうをくさらせなないひみつのことは知りませんでした。パストゥールがその發明をした人なんだと、理解することができました。知らなかつたことがたくさん分かつたので、科学に興味がある人にぜひ読んでもらいたいです。



☆「たんごつね」(まりきり作文)

四年二組

樞地 星太

今日は、兵十のおつかあのおうしきがあつた。兵十の家におおぜいの人が集まつていた。お昼は、墓地へ行くそう列を見た。そう列が通つた後には、墓地の中のひがん花がふみおられていた。兵十が白いかみしもをつけて、いはいをささげていた。

いつもは赤いさつまいもみたいな元気のいい顔が、今日は何だかしおれてきた。きつと、兵十のおつかあは、うなぎをたべたいといつたんだらう。だから、兵十は、川にはりきりあみをしかけたんだ。

でも、兵十は、おつかあにうなぎを食べさせることができなかつた。だから、兵十のおつかあがしんで死んでしまったらう。きつと、うなぎが食べたい、うなぎが食べたい、と思ひながらしんでしまったらう。あんな、いたずらをしなければよかつた。

でも、兵十は、おつかあにうなぎを食べさせることができなかつた。だから、兵十のおつかあがしんで死んでしまったらう。きつと、うなぎが食べたい、うなぎが食べたい、と思ひながらしんでしまったらう。あんな、いたずらをしなければよかつた。



☆「たんごつね」(まりきり作文)

四年二組

熊澤匠真

兵十は、一人ぼっちでかわいそうだな。このうなぎをぬすまねなきや良かつたな。そうすれば、兵十のおつ母は、死ななかつたのにな。だから、おれは、兵十のために何かしようと思つた。でも、おれがぬすんだいわしを投げこんだから、また、兵十をこまらせた。だから、今度は、ぬすんだものじゃなくて、くりや松たけだけを集めて来ようと思つた。それを食べて元氣を出してほしい。今日、おれは、くりをとどけて三日目だ。兵十は、喜んで食べてくれるといいなと思つた。

